

2023年度 名古屋大学大学院  
理学研究科博士前期課程

物理科学領域自己推薦入学学生募集要項

**【アドミッションポリシー】**

自然科学に関する確かな基礎学力を持ち、自然の理の探求と解明に挑むため、チャレンジ精神に満ちあふれ、瑞々しい創造力をもつ人を受け入れます。

名古屋大学大学院理学研究科では、2022年4月に組織改編を行いました。これに伴い、新しい教育研究体制として、1専攻(理学専攻)の下に、専門性に応じて緩やかに連携した14のコースを設けています。これにより、これまでの3専攻の境界にとらわれず領域を超えた融合的・学際的研究を推進する体制を構築します。一方、教員の属する組織は学部教育の観点から、物理科学、物質・生命化学、生命理学の3領域に分かれます。次ページの専攻・領域・研究分野・コース関連表にあるように3領域に所属する教員は、コースに応じて領域を超えて連携し最先端の研究を通じて大学院生の教育を行います。

入学後、半年間はコースを定めず、大学院教養教育科目を中心とした講義履修と、合格時に決定した研究室で研究の基礎技術を学びます。8月にコース配属の希望を提出し、コース決定後にコース内の異なる研究室から副指導教員2名を選び、研究を進めていきます。異なる研究室から副指導教員を選出することで共同研究や融合研究を進めていきます。

入学試験は、物理科学、物質・生命化学、生命理学の領域ごとに行います。

出願者は、出願前に志望する全研究室と連絡を取っておいて下さい。その際、研究室と相談の上、出願前に研究室訪問を行っておくことを推奨します。

2022年からインターネット出願を開始します。出願に必要なパソコンやプリンター等のデバイス、メールアドレス、顔写真データ、支払方法、提出書類等を確認してから出願してください。また出願前には、マイページを登録することになりますので、時間には余裕を持って出願をおこなってください。なお、大学から入学試験に関する重要なお知らせを配信します。メールアドレスについては、変更や削除の可能性がなく、日常的に確認しやすいものを準備してください。

## 大学院入学を希望している諸君へ

### －自己推薦入学制度の紹介－

名古屋大学大学院理学研究科の物理科学領域では、平成12年度より、大学院において研究する強い意志を持った学生を広く全国から求めることを目的として、大学院博士前期課程の入学試験に自己推薦入学制度（以下では、自薦制と呼ぶ）を採り入れています。

学生募集要項にあるように、自薦制では、出願者に物理学において感銘を受けたことあるいは強い関心を持ったこと、卒業研究の内容、志望分野の選定理由やそれとの関係でアピールしたい自分自身の適性・特性など、を書いた「自己推薦書」を提出していただきます。（指導教員の推薦書は必要としない。）選考方法は、3年生までの成績と「自己推薦書」をもとに、物理学一般と卒業研究（実験）に関する面接試験を行って合否を判定するというものです。領域の定員のおおよそ半分程度を自薦制で、残りを一般選抜試験で採用する予定です。

多くの学生諸君が出願してくれることを期待しています。願書提出期間が比較的早いので注意してください。大学院入試制度の説明会を5月28日（土）13:00から坂田・平田ホール（理学南館）とオンラインとのハイブリットで行います。当日は研究室訪問も可能です。

なお、筆記試験と口述試験による一般選抜試験は、8月24日（水）、25日（木）、26日（金）に行います。この募集要項は別途用意しています。これら大学院入試案内や研究室案内については、大学院入試のホームページ

<http://www.phys.nagoya-u.ac.jp/entrance/>

をご覧ください。



コース名	主 要 内 容
(a) 素粒子・ハドロン物理学	素粒子、ハドロンそして重力の基本法則とそこから導かれる現象を理解し、新たな物理法則の理論的研究を行う、もしくは加速器実験・非加速器実験による新粒子・新物理現象探索を行う。(b) (c) コースが扱う初期宇宙や高エネルギー天体现象の物理的基礎を与えるとともにもその研究で連携し、新物理現象探索や量子場の理論の物性系の応用の研究において(d) (f) (g) コースと連携する。
(b) 天文・宇宙物理学	星間物質と星・惑星の誕生、銀河・銀河団と進化並びに宇宙論的な現象を理解する。その手法は一般相対論・磁気流体力学などの宇宙物理学基礎理論に基づく理論的研究及び、電波からガンマ線までの全波長域の電磁波と重力波に対する地上とスペース観測である。宇宙観測による新粒子・新物理現象探索の研究において(a)コースと連携し、またプラズマ物理学や観測手法論等は(c)コースと連携する。
(c) 宇宙地球物理学	宇宙・太陽・地球を一つのシステムとして捉え、銀河宇宙、太陽・太陽圏、電磁気圏、大気圏に生起する多様な現象のメカニズムと相互作用を理論研究と観測研究の連携を通して解明する。(b) コースの宇宙・天体现象の研究と連携する。
(d) 凝縮系物理学	結晶固体、準結晶、量子液体、液晶、コロイド、アクティブマターなど、膨大な数の粒子が集合することで生み出される現象を理解し、それに基づいて新奇な現象を解明する。(a)コースの場の理論や、(f) (g) (h) コースが扱う物質の研究と連携し、さらに(e) (h) (j) コースの物理学的基礎を与える。
(e) 生物物理学	生命現象を物理学の研究対象と捉え、統計力学や、最新の顕微操作や分光技術、大規模な新規シミュレーションを用いて、第一原理的に理解することにより、生物の複雑な階層的かつ普遍的な法則を理解する。(d) コースと手法や基礎理論の開発の面で協働し、また(f) (g) (h) (i) (j) (k) (l) コースの研究と連携し、モデル化による物理学的基礎を与える。
(f) 物理化学	化学的現象を物理学的な方法論を用いて解析することで、物質及び物質が生み出す現象を理解する。またそれらをもとに、新物質を生み出す。(g) (h) コースが扱う物質の研究と連携し、さらに(d) (e) (i) (j) コースの化学的基礎を与える。
(g) 無機・分析化学	無機物質を中心とした化学反応の開拓、新奇物質の創製及び化学現象解明を行うとともに、化学現象を利用した分析のための新しい方法論を生み出す。また、無機物質が関与する生物学的現象の解明を行う。(f) (h) コースが扱う物質の研究と連携し、さらに(d) (e) (i) (j) コースの化学的基礎を与える。
(h) 有機化学	有機物質を中心とした化学反応の開拓、新奇物質の創製及び化学現象解明を行うとともに、生物学的現象を化学的な視点から解明する。(f) (g) コースが扱う物質の研究と連携し、さらに(d) (e) (i) (j) コースの化学的基礎を与える。

(i) 生命情報・システム学	<p>生命現象をシステムとして理解するために、情報科学的な手法を取り入れて、生体システムの構成要素の同定と特性の解明、構成要素間のネットワーク構造の理解やシミュレーションを行う。(j) (k) (l) コースが扱う生命科学の各階層にシステム生物学的な視点を与えることで連携する。(e) コースの生物物理学や (h) コースの有機化学から、物理的、化学的な基礎を得る。</p> <p>(e) コースの生物物理学には、システム生物学的な基礎を与える。</p>
(j) 遺伝・生化学	<p>生命現象をつかさどる生体分子や遺伝子、タンパク質をその構造や機能の観点から理解するために、分子構造解析や遺伝学、生化学を基盤とした解明研究を行う。(i) (k) (l) コースが扱うシステム、細胞、行動生態の研究と連携する。(d) コースの凝縮系物理学コース、(e) コースの生物物理学や (h) コースの有機化学から、物理的、化学的な基礎を得る。(e) コースの生物物理学には、生化学的な基礎を与える。</p>
(k) 形態・機能学	<p>生物の発生、再生、生殖、それによって組織や器官や個体の形態が作られる機構を、遺伝子と生体分子と細胞の機能の観点から解明するため、遺伝学、発生生物学、細胞生物学や生理学を基盤とした解明研究を行う。(i) (j) (l) コースが扱うシステム、遺伝子やタンパク質、行動や進化の研究と連携する。(d) コースの凝縮系物理学コース、(e) コースの生物物理学から、物理化学的な基礎を得る。</p>
(l) 行動・生態学	<p>生物個体の生態や行動、生態系、進化など、マクロスケールでの生命現象の解明を行う。(j) (k) (l) コースが扱うシステム、遺伝子やタンパク質、細胞レベルでの研究と連携する。(c) コースの宇宙地球物理学から、地球科学的な基礎を得るとともに、同コースに生態学的な基礎を与える。</p>
(m) 学際理学	<p>理学研究の広い意味での新学術を創成する。宇宙線実験を応用した考古学研究や地球科学研究や、生命現象を理解し、機能を合成により創生し、さらには制御につなげるための、分子科学的研究を行う。(a)-(1)の各コースと広く連携し、新しい研究分野開拓を行う。国際高等研究機構に所属する教員など、専攻外の審査員に加えた学際的な体制で学位審査を行う。</p>
(n) 国際理学	<p>現行の国際コース (G30)を再編し、さらなる留学生の受入を行う。受け入れた留学生の学部学生時の履修状況に応じて後取り制度を柔軟に適用し、博士前期課程 1 年次の終わりごろをめどに(a)-(1)のコースに転コースできる。また国際理学コースのまま学際理学コースと同じく新しい研究分野開拓を行うこともできる。</p>

## 1 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 日本の大学を卒業した者及び2023年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び2023年3月末日までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2023年3月末日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2023年3月末日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2023年3月修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2023年3月末日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2023年3月31日までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2023年3月末日までに22歳に達する者

(注) 出願資格(9)により出願する者については、事前審査を行う。該当者は2022年5月20日(金)(必着)までに、①氏名、②住所、電話及びメールアドレス、③履歴(高校卒業後現在まで)、④志望領域名を記載した書類(書式自由)を提出すること。その際、封筒の表に「前期課程の事前審査書類請求」と朱書きすること。その後、教務学生係から事前審査書類をメールで送付する。

## 2 募集人員

50名

## 3 願書受付期間

2022年6月27日(月)～2022年7月1日(金)

受付時間 10時～12時、13時～16時

(郵送による場合も、上記期間内で、消印に関係なく7月1日(金)16時までに到着したものに限り受け付ける)

※インターネット出願登録期間及び 入学検定料払込期間

2022年6月13日(月)～2022年7月1日(金)15時

## 4 出願書類等

- (1) 名古屋大学大学院 志願票及び写真票  
[インターネット出願システムから、A4サイズで片面カラー印刷すること。]  
※出願前3か月以内に撮影した正面向き、上半身、無帽、背景なしの顔写真データ（最大10MBまで）を用意し、インターネット出願システムからアップロードすること。  
インターネット出願システムに入力した住所に合格通知を送付することから出願後に住所が変更になる場合には必ず教務学生係に申し出ること。
- (2) 名古屋大学大学院理学研究科志願票  
[本研究科所定の用紙に必要事項を記入の上、出願すること。]
- (3) 成績証明書
- (4) 卒業（見込）証明書  
[名古屋大学理学部卒業（見込）者は不要。出願資格（2）により出願するものは、学位授与機構発行の学士学位授与（見込）証明書を提出すること。]
- (5) G P Aおよび主要科目成績表  
[本研究科所定の用紙]
- (6) 自己推薦書  
[本研究科所定の用紙]
- (7) あて先明記の封筒1枚  
[長形3号（23.5 cm×12 cm）の封筒に、本人の宛名を明記し、84円切手を貼付すること。]
- (8) 類型該当性の自己申告書  
[5 出願手続（5）を参照にすること]
- (9) 受験承認書  
[官公署その他民間会社等に在職している者は提出すること。]
- (10) 国費外国人留学生証明書  
[現在、国費外国人留学生である者は、在学大学が発行する証明書を提出すること。]  
※国費留学生の場合には入学検定料が免除となるので、出願時に「検定料の免除について」をチェックすること。

## 5 出願手続

出願手続は、インターネット出願システムでの出願登録及び入学検定料の支払いを行った後、出願期間内に必要な出願書類などを提出することにより、完了となる。

インターネット出願での出願登録及び入学検定料の支払いを行っただけでは、出願手続完了にはならない。  
なお、支払い期限は、出願登録日を含め4日間です。支払い期限内に入金がない場合は、出願登録は自動的にキャンセルとなるので注意すること。（キャンセルとなったときは再登録すること）

※払込締切日までの日数が4日より短い場合は、払込締切日が優先される。

出願者は、前項（1）～（10）の書類等を本研究科教務学生係へ提出すること。出願書類の完備しない願書は受理しない。

### ◎注意事項

- (1) 出願書類を郵送する場合は、インターネット出願システムから印刷する「出願用宛名用紙」をカラーで出力し、角形2号の封筒に貼りつけて、締切日時までに必着するよう送付すること。
- (2) 出願後は記載事項の変更及び検定料の払い戻しはしない。
- (3) 障害等があつて試験場での特別な配慮を必要とする者にあつては、2022年5月27日（金）、までに、以下3点を添えて、その旨を教務学生係へ申し出ること。
  - (a) 受験上の配慮申請書（障害の状況、受験上配慮を希望する事項とその理由書を記載したもの、様式随意、A4サイズ）
  - (b) 障害等の状況が記載された医師の診断書、障害者手帳等（写しでもよい）
  - (c) 障害等の状況を知っている第三者の添え書（専門家や出身学校関係者などの所見や意見書）適宜それ以外の書類を添付しても構わない。  
なお、受験や入学後の修学に関して相談の希望がある者は、出願期限までに問い合わせること。
- (4) 留学生は安全保障輸出管理を受験までに実施する必要があるため、可能な限り早めに志望する研究分野の教員と連絡を取ること。なお、第1志望の研究室に配属されない場合には、安全保障輸出管理の制約で研究内容の制約を受ける可能性があることを理解した上で出願すること。
- (5) 2021年11月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における学生への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となります。

これに伴い、学生が出願の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「特定類型該当性の自己申告書」の提出が必要となる。一部の学生においては合格時に「誓約書」の提出が必要となる。該当する学生には別途教務学生係から連絡する。(海外から資金提供を受けている場合)

※類似該当性の判断について不明な場合は下記に問合せすること。

名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部 安全保障輸出管理事務局

E-mail: anzen@aip.nagoya-u.ac.jp TEL: 052-747-6702

## 6 入学検定料の払込方法

(1) 入学検定料 30,000円

※別途支払手数料が必要となる。

(2) 払込期間 (日本時間)

2022年6月13日 (月) ~ 2022年7月1日 (金) 15時まで

(3) 払込方法

入学検定料等の支払いは、以下のいずれかの方法で行うこと。詳細については、インターネット出願の案内を確認すること。

- ・クレジットカード
- ・ネットバンキング
- ・コンビニエンスストア
- ・Pay-easy対応銀行ATM

(4) 入学検定料の返還について

出願書類を受理した後は、納入済みの入学検定料は返還しない。ただし、以下に該当する場合は、納入された入学検定料を返還する。なお、返還にかかる振込手数料は差し引く。

ア 入学検定料納入後、出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合

イ 入学検定料を二重に払い込んだ場合

※入学検定料の返還は銀行振込で行われる。海外の銀行の口座に返還する場合には、返還される

金額は大きく減額される他、返還に多大な日数を要します。入学検定料の納入は慎重に行うこと。

返還請求方法については、名古屋大学ホームページ (<http://www.nagoya-u.ac.jp/>) → 入学案内 → 大学院入試・学部編入試験など → 入学検定料についてを確認すること。

自然災害等により被災した入学志願者に係る検定料の特別措置については名古屋大学ホームページの下記サイトで確認すること。

<https://www.nagoya-u.ac.jp/admissions/exam/cat/saigai/index.html>

## 7 選抜方法

面接試験

2022年7月16日 (土)、7月17日 (日)

物理学一般・卒業研究または実験の中間報告・自己推薦書などについて試問し、学部成績も考慮して選抜する。

面接試験の時間割は出願後郵送する。

受験票はインターネット出願システムを通して周知するので、印刷して試験当日に持参すること。

## 8 合格者発表

2022年7月19日 (火) 正午、理学部C館1階教務学生係事務室に掲示し、翌日、理学研究科のホームページ <https://www.sci.nagoya-u.ac.jp/> に掲載する。

また「合格通知書」は9月中旬に、「入学手続き書類」は2月中旬に送付する予定である。

出願時に登録した住所に合格通知書等を発送する。

## 9 入学料及び授業料

入学料 282,000円

(2023年3月下旬の大学が指定する入学手続き期間内に納めること。)

授業料 前期分 267,900円(年額535,800円)

(注1) 授業料は、前期及び後期の2期に分けて、前期にあつては5月、後期にあつては11月に納入する。

(注2) 入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には、改正時から新たな授業料が適用される。

## 10 注意事項

- (1) 出願者は入学を志望する研究室を第2志望まで記入することができる。
- (2) 出願者は、出願前に志望する全研究室と連絡をとること。その際、研究室と相談の上、出願前に研究室訪問を行っておくことが望ましい。  
大学院入試説明会(2022年5月28日(土))研究室の連絡先は研究室連絡先一覧、及び、大学院入試ホームページ <http://www.phys.nagoya-u.ac.jp/entrance/> を参照のこと。  
なお、上記ホームページへは最新の情報が随時公開される。
- (3) 指導教員の推薦は必要としない。
- (4) 自己推薦入学で不合格であっても、8月の一般選抜試験に出願することができる。  
(一般選抜試験の選考では、自己推薦入試の成績は考慮しない。)

## 11 その他

- (1) 出願にあたって提供された氏名・生年月日・住所その他の個人情報、入学選抜、合格発表、入学手続き、及びこれらに付随する事項、並びに入学後の学務業務における学籍・成績管理を行うためのみに利用する。また、取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外には使用しない。

2022年4月

名古屋市千種区不老町(郵便番号464-8602)

名古屋大学大学院理学研究科  
教務学生係

電話 052-789-2402  
5756

E-mail ri-dai@adm.nagoya-u.ac.jp



地下鉄名城線「名古屋大学」駅  
下車(2番出口へ)

### 自然災害対応等 緊急の連絡について

感染症や自然災害等により、試験日程の変更等が生じた場合は、下記の理学研究科ホームページでお知らせしますので、出願前や受験前に必ず確認してください。

◎理学研究科ホームページ

<https://www.sci.nagoya-u.ac.jp/>

◎連絡窓口

名古屋大学大学院理学研究科 教務学生係

電話 052-789-2402、5756

ri-dai@adm.nagoya-u.ac.jp

## 名古屋大学大学院理学研究科要覧

領域名	研究分野	コード番号	教 員			
			教 授	准 教 授	講 師	助 教
物理学	<b>【理論】</b>					
	素粒子論 (E)	010	棚橋 誠治 久野 純治 重森 正樹	前川 展祐 早川 雅司 戸部 和弘 酒井 忠勝		
	クォーク・ハドロン理論 (H)	023	原田 正康			山口 康宏
	重力・素粒子的宇宙論 (QG)	032	野尻 伸一 ◇	南部 保貞	柳 哲文	
	プラズマ理論 (P)	040	渡邊 智彦		前山 伸也	
	宇宙論 (C)	052		市來 淨與 宮武 広直		横山修一郎
	理論宇宙物理学 (Ta)	051	犬塚修一郎			小林 浩
	銀河進化学 (Ω)	131		竹内 努		
	複雑性科学理論 (Σ <sub>T</sub> )	151		沼波 政倫 ◎		
	非平衡物理 (R)	012	宮崎 州正		川崎 猛史	
	物性理論 (凝縮系) (Sc)	021	紺谷 浩	小林 晃人 大成誠一郎	山川 洋一	
	物性理論 (量子輸送) (St)	022	河野 浩		山影 相	
	計算生物物理 (B)	035	TAMA Florence	倭 剛久		木村 明洋
	<b>【実験】</b>					
	基本粒子 (F)	061			中野 敏行 佐藤 修*◎	
	高エネルギー素粒子物理学 (N)	071	飯嶋 徹	居波 賢二 堀井 泰之		
	素粒子物性 (Φ)	081	清水 裕彦	北口 雅暁		奥平 琢也
	宇宙線イメージング (μ)	230		森島 邦博		
	天体物理学 (A)	101		田村 陽一 立原 研悟		山本 宏昭
	宇宙物理学 (赤外線) (U <sub>ir</sub> )	111	金田 英宏	松尾 太郎	國生 拓摩 森鼻久美子 ◎	
	宇宙物理学 (X線,重力波) (U <sub>xg</sub> )	122	川村 静児 ◇	中澤 知洋	石橋 和紀 三石 郁之	
	複雑性科学実験 (Σ <sub>E</sub> )	152	永岡 賢一 ◎			
	固体磁気共鳴 (I)	112		小林 義明	清水 康弘 松下 琢	
	ナノ磁性・スピン物性 (J)	115	谷山 智康			井村敬一郎 小森 祥央 中埜 彰俊
	機能性物質物性 (V)	113	寺崎 一郎			
	応答物性 (Y)	240		谷口 博基	出口 和彦	
	生体分子動態機能 (D)	114	内橋 貴之		村上 緑	
	光生体エネルギー (G)	116	野口 巧	三野 広幸	加藤 祐樹	
	細胞情報生物物理 (K)	082		榎 互介		鈴木 直哉
	<b>【宇宙地球環境研究所】</b>					
大気圏環境変動 (AM)	220	水野 亮	長濱 智生			
宇宙空間物理学観測 (SS <sub>E</sub> )	181	平原 聖文	野澤 悟徳 大塚 雄一	大山伸一郎		
太陽宇宙環境物理学 (SS <sub>T</sub> )	184	草野 完也	増田 智		家田 章正	
宇宙線物理学 (CR)	191	伊藤 好孝 田島 宏康	三宅 芙沙 風間 慎吾 岩井 一正	奥村 暁	毛受 弘彰	
太陽圏プラズマ物理学 (SW)	200				藤木 謙一	

(注1) 研究分野欄の ( ) は、研究室の略称を示す。Σは核融合科学研究所。

(注2) ◎印は、兼任教員を示す。

(注3) \*印は、特任教員を示す。

(注4) ◇印は、2024年3月31日定年退職予定教員を示す。

領域名	研究分野	主要内容
物理学	【理論】	
	素粒子論 (E)	1GeV領域から $10^{16}$ GeVにわたる広いエネルギー領域の素粒子現象の研究を通じて、標準模型を越える新しい理論体系およびその枠組としての場の理論のダイナミクスを研究している。現在行っている主なテーマは、超対称性理論や余剰次元理論、大統一理論、コライダー物理・フレーバー物理などの素粒子現象、宇宙素粒子現象、超弦理論、量子電磁気学の超高精度計算、対称性の力学的破れ、格子ゲージ理論の研究など。その他、場の理論の形式的整備の研究を行っている。
	クォーク・ハドロン理論 (H)	強い相互作用の基本理論である量子色力学(QCD)におけるクォーク・グルーオンと、その多体系であるハドロンの多様な現象の解明を主な研究目的とする。主な研究対象は、エキゾチックハドロンの構造解明、カイラル対称性の自発的破れと質量の起源、高温・高密度等の極限状況でのQCDの相構造と相転移機構、および、高密度核物質中のハドロンの性質変化と中性子星内部における状態方程式への影響などである。これらの物理現象解明を目標に、新しい理論やモデルを開発しながら解析を実施している。
	重力・素粒子的宇宙論 (QG)	一般相対論ならびに重力を含む素粒子とその相互作用の統一理論の候補である超弦理論などの高次元重力理論の研究を行い、初期宇宙のインフレーションや現在の宇宙の加速膨張などの宇宙論的問題ならびにブラックホールなどの強重力下での現象の解明を目指す。また、重力理論そのものの性質に対して観測等から手がかりや制限を見出すことを目標とする。
	プラズマ理論 (P)	電磁場と無数の荷電粒子からなる自己電磁力系としてのプラズマは、宇宙空間のいたるところで粒子加速や乱流輸送、爆発現象などを引き起こすとともに、核融合実験や高強度レーザー実験においても主たる研究対象となっている。これらのプラズマに生起する非線形現象を理論的に研究している。最近取り組んでいる研究テーマは、オーロラの発達と構造変化、無衝突プラズマにおける乱流輸送、爆発的磁気エネルギー解放現象などである。これらを解明するために、解析的アプローチだけでなく、超並列コンピュータを用いた大規模シミュレーション研究を積極的に進めている。
宇宙論 (C)	宇宙構造の起源と進化について理論的な研究を全般的に行っている。最新の観測結果に基づきつつ、初期宇宙から現在の宇宙までを理論的に明らかにすることが研究目的である。近年の宇宙論は観測的進展が著しく、その理解のために理論研究の果たす役割は大きい。本研究室は宇宙全体の姿を明らかにするような宇宙論的観測プロジェクトにも理論の立場から参加している。研究の手法としても、純粋な解析的理論から大規模数値シミュレーション、さらには観測データの理論解析に至るまで、実に多様なアプローチが取られている。	
理論宇宙物理学 (Ta)	宇宙における天体形成や進化を解明することで、物理学を宇宙の進化の中で系統化することを目指す。銀河・星・惑星などの形成・進化の過程で重要な役割を演じる物理現象を、解析的及び数値シミュレーションの手法を用いて理論的に調べる。その際に現象を構成している物理素過程の研究を重視し、得られた知見をその他の分野の物理学にも応用することを目指す。	

領域名	研究分野	主要内容
物理学	銀河進化学 (Ω)	銀河は星と星間物質、暗黒物質からなる大集団であり、それ自体複雑な構造を持つと同時に宇宙論的なスケールでの基本構成単位となる天体でもある。銀河は様々な波長・エネルギースケールで多様な姿を持ち、多波長での研究が本質的に重要である。138億年にわたる宇宙進化の文脈から、銀河の形成・進化を多角的に研究し、また銀河形成に関する宇宙論的問題にも取り組む。多波長のアプローチという観点から、地上観測機器、宇宙望遠鏡、人工衛星等のデータ解析、および観測を再現する銀河形成進化の理論モデルの構築、そして最新のデータ科学の方法による基本方程式の構築という3つの視点から研究を進めている。
	複雑性科学理論 (Σ <sub>T</sub> )	宇宙にある殆どの物質はプラズマ状態にある。多数の荷電粒子と電磁場から構成されるプラズマの物理系は、複雑性と呼ばれる非平衡かつ強い非線形性を有する状態にあり、非常にチャレンジングな研究領域である。ΣT研では、この複雑性科学のエッセンスを豊富に含んでいる磁場閉じ込め核融合プラズマを主な研究対象として、大型計算機を用いた理論シミュレーション研究を進めている。現在の主な研究テーマは、磁場閉じ込めプラズマにおける乱流輸送、構造形成、輸送制御に関する大規模シミュレーション研究やプラズマ輸送現象を表現する理論モデルの構築などに加えて、機械学習を利用したデータ解析、実験データとの直接的な比較手法の開発といったデータ科学研究、大規模シミュレーションに不可欠な数値計算技法や数値モデリングの研究などである。
	非平衡物理 (R)	学部の熱力学・統計力学で学ぶ対象は、例外なく熱平衡系である。しかし身の回りを眺めると、面白い現象はほぼ例外なく、熱や物質の激しい流れを伴う非平衡状態で起こっている。だが、それらを理解するための普遍法則は確立していない。R研では、様々な非平衡現象を計算機シミュレーションおよび解析的手法を用いて研究している。現在、研究室で行われている研究の主な内容は、(1) ソフトマターの非平衡統計物理学：コロイド系におけるブラウン運動や巨視的な粘弾性などのレオロジー挙動、自己組織化など。(2) 過冷却液体のガラス転移の理論的研究。ガラス転移の熱力学描像の確立に向けた大規模数値シミュレーション。(3) 非平衡現象の数理モデルの解析。などである。
物性理論 (凝縮系) (Sc)	量子力学に従う多粒子が相互作用する物質中では、量子性が本質的な興味深い現象が発現する。典型例として、非従来型超伝導の発現や多彩な相転移現象・新規準粒子の出現による新物性がある。このような凝縮系物理における重要問題を、場の理論に基づき解析的および数値的に研究している。最近の主なテーマは以下のとおりである。(1) 電子相関の理論：遷移金属化合物や希土類金属、有機導体では、電子間に働く強い相互作用によって、高温超伝導現象など様々な興味深い現象が発現し、その起源の解明に取り組んでいる。(2) 量子相転移現象：量子力学的な揺らぎが協力的に発達した金属において実現する、電子液晶秩序などユニークな相転移現象や、臨界現象を研究している。(3) 新規準粒子による創発現象：金属中では、波動関数のベリー位相により、有効質量ゼロのDirac粒子など多彩な準粒子が発現し、その興味深い物理現象を研究している。	

領域名	研究分野	主要内容
物理科学	物性理論 (量子輸送) (St)	<p>物性物理学における現代の諸問題のなかでも、スピントロニクス、トポロジカル物質、量子輸送現象を中心に理論的に研究している。スピントロニクスは電子のスピンを利用してエレクトロニクスの技術革新を図る分野であり、物理学の観点からも興味深い新現象が多い。また近年、固体内電子の波動関数が非自明なトポロジーをもつ新しいクラスの物質 (トポロジカル物質) の存在が認識されてきた。これらについて、量子統計力学や場の量子論の手法にもとづき解析的・数値的に研究している。最近の研究テーマは、(1) トポロジカルな磁化構造と電気伝導、(2) 電子および他の素励起によるスピン輸送、(3) 反強磁性体やトポロジカル物質を舞台としたスピントロニクス現象、(4) 力学的スピン流生成、(5) 新規トポロジカル量子現象の提案、など。</p>
	計算生物物理(B)	<p>Biological complexes, structured ensembles of proteins and nucleic acids, perform many vital cellular functions and dysfunctions of those result in severe diseases. In order to understand diseases and develop treatments, the functional mechanisms of these biological complexes need to be elucidated. A crucial step in this process is the characterization of the structure and dynamics of these complexes. Our goal is to develop computational methods to obtain atomic level description of the functional states of biological complexes. Such methods will rely on the integration of computational simulations with various experimental data such as high resolution X-ray crystallography, lower resolution cryo-EM and X-ray Free Electron Lasers.</p> <p>The research in the lab is interdisciplinary. We use physics, chemistry, and computational science to study biological systems. More specifically, to describe the dynamics and energetics of biological molecules, we use empirical force fields based on the physico-chemical properties of atoms or, to reduce complexity, we also use coarse-grained models. Then methods such as molecular dynamics simulations/normal mode analysis are used to obtain structural models by incorporating experimental data into the modeling procedure, where numerical optimizations techniques, such as Monte Carlo and gradient following techniques, need to be implemented in programs.</p>
	【実験】 基本粒子(F)	<p>素粒子現象をサブミクロンの精度で可視化できる原子核乾板とその読み取り装置を用いて、素粒子・宇宙をはじめ、それらにとどまらない研究を展開している。原子核乾板はタウニュートリノ検出の実績をもつ世界で唯一の検出器であり、この特徴を生かしニュートリノ混合の研究を推進してきた。また10nmサイズの超微粒子原子核乾板を独自開発し、宇宙の暗黒物質を検出する実験を準備している。宇宙の暗黒物質の正体解明は今世紀の物理学の大きな課題の一つであり、超微粒子原子核乾板は暗黒物質の入射方向を同定でき、その検出のみならず将来暗黒物質望遠鏡としての役割を果たすことも期待できる。並行して原子核乾板を用いた超高分解能γ線望遠鏡の開発も行っており、2018年にオーストラリアで行った口径0.4 m<sup>2</sup>の気球フライトのデータ解析を行っている。また世界最大口径10 m<sup>2</sup>の次期望遠鏡の開発も行っており、γ線突発現象などの高精度解析も目指している。</p>

領域名	研究分野	主要内容
物理科学	高エネルギー素粒子物理学 (N)	<p>ヒッグス粒子が発見され、標準模型を超える新しい素粒子現象の発見が期待されている。新しい現象の発見により、ダークマターの正体、素粒子の質量や世代構造の起源、真空や時空構造の理解、力の大統一など、現代素粒子物理学の課題の多くに迫ることができる。これらの課題に挑戦するために、当研究室は、世界最高エネルギーの陽子陽子衝突型加速器を用いたLHC実験と、世界最高ビーム強度の電子陽電子衝突型加速器を用いたスーパーBファクトリー実験を主導している。LHC実験では、超対称性粒子や余剰次元粒子など未知の素粒子の発見を目指すとともに、ヒッグス粒子の性質の理解、トップクォークの生成・崩壊の精査をする。スーパーBファクトリー実験では、B中間子やタウレプトンの崩壊の中に現れる未知の素粒子が引き起こす新しい現象の探索をする。さらにJ-PARC加速器施設でのミューオン異常磁気能率測定による新物理探索も手がけている。また、これらの実験で用いられる、最先端のテクノロジーを駆使した粒子検出器と電子回路の開発・建設・運転も精力的に行っている。さらには、物理解析には欠かせない高速ネットワークを駆使した大型計算機システムの設計・構築・運転にも力を入れている。</p>
	素粒子物性 (Φ)	<p>低速の中性子やミューオン、原子核を用いた精密測定により素粒子物理学の実験的研究を行っている。実験には世界最高輝度を誇るJ-PARCのパルス中性子やミューオン、カナダTRIUMF研究所のイオンビーム、さらにフランスLaue Langevin研究所、アメリカNISTなど国内外の研究用原子炉を利用する。中性子を用いた研究テーマとしては、中性子崩壊寿命測定、複合核状態における空間・時間反転対称性の破れの増幅効果、中性子原子散乱及び中性子干渉における未知相互作用（短距離重力を通じた余剰次元やダークエネルギー等）の探索、超冷中性子光学や結晶回析を用いた中性子電気双極子能率の探索、中性子反中性子振動を通じたバリオン数非保存過程の探索などがある。必要な高性能中性子デバイス（集光光学系、スピン制御、ビーム整形、検出器など）を開発する。デバイスのテストなどに活用することができる小型の中性子源自体の開発も同時に行っている。さらに、偏極<sup>8</sup>Li原子核のβ崩壊の角相関から時間反転対称性の破れを探る実験やミューオンの超微細構造に現れる新物理の探索実験などにも参加している。</p>
	宇宙線イメージング (μ)	<p>宇宙線中に含まれる素粒子ミューオン (μ) を利用した巨大構造物内部の非破壊イメージング技術 (宇宙線イメージング) の開発とその多分野への展開を進めている。原子核乾板と呼ばれる写真フィルム型の素粒子検出器を用いて、その開発・製造から観測の立案・実施、解析までの全てを行う。2017年にエジプトのクフ王のピラミッド内部に発見した未知の空間の三次元構造の解明を目指した研究開発を進めている。また、マヤ文明のピラミッドやイタリアの地下遺跡探査も進めており、文理融合研究による宇宙線イメージング考古学を開拓している。社会インフラ (河川堤防・盛土などの土木構造物の健全性評価や地下空洞の探査など) の老朽化点検や工業用プラント (原子炉や溶鉱炉) の内部診断技術などをはじめとした宇宙線イメージングの社会実装を目指しており、多分野の研究者との学際研究や企業との共同研究も積極的に進めている。</p>

領域名	研究分野	主要内容
物理科学	天体物理学 (A)	あらゆる天体の起源である星間物質が放射する電波（ミリ波・サブミリ波）に着目し、138億年にわたる宇宙の歴史の中で生じる恒星や銀河の形成・進化過程の観測的研究を推進している。南米チリに設置されたサブミリ波望遠鏡NANTEN2、ASTE、ALMAをはじめとする国内外の望遠鏡で取得したデータを用い、分子雲内での星形成過程、分子雲の形成過程やそこで起きているさまざまな天体现象、星間物質を大量に持つ活動銀河の深宇宙探査、初代銀河形成期の星形成活動と星間物質の物理を研究している。NANTEN2による超広域分子雲サーベイ (NASCO計画) やそれを支える受信観測システムの開発を進め、銀河系全体にわたる星間物質の性質を探索する。さらに、次世代超大型サブミリ波望遠鏡の実現をめざし、日蘭共同開発の集積型超伝導分光器DESHIMAなどの主力焦点面受信装置の開発と天文観測、電波領域での能動補償光学の実証、データ科学的信号処理法の開発を推進している。
	宇宙物理学 (赤外線) (U <sub>ir</sub> )	近・中間・遠赤外線観測による、銀河系・近傍銀河の星間物質と星形成、銀河進化、太陽系外惑星などを研究課題としている。当研究室は、赤外線天文衛星「あかり」に搭載された遠赤外線観測装置を開発し、中間赤外線全天画像の作成を担当した。現在は「あかり」の膨大なデータに加えて、欧米の衛星観測データや「すばる」望遠鏡のデータなどを駆使して、上記テーマの観測研究を進めている。また、当研究室は南アフリカに近赤外線望遠鏡IRSFを所有しており、マゼラン雲などの詳細な観測も行っている。さらに、次世代の赤外線天文衛星用の光学系や焦点面観測装置の開発に携わるとともに、IRSF用の分光器や気球望遠鏡用の観測装置の開発なども行っている。また、将来の地球型系外惑星の分光観測に向けた宇宙干渉計や食分光器の開発を進めている。
	宇宙物理学 (X線, 重力波) (U <sub>xg</sub> )	X線観測・装置開発に加えて、重力波検出実験も行っている。 (1) 銀河団やブラックホール、恒星フレアなど、宇宙の高エネルギー天体现象をX線を用いて観測し、高温ガスの大規模な運動や重元素の生成、衝撃波や粒子加速などを研究する。現用のX線観測衛星のデータ解析に加え、次世代のX線分光、偏光、硬X線観測を目指した、先進X線望遠鏡やその周辺技術、検出器などの衛星搭載の装置開発を推進している。2021-25年にはIXPE衛星、XRISM衛星、FOXSI-4ロケット、COSI衛星の打ち上げも迫る。また、将来のMeV宇宙観測の装置開発や、自然界の静電場加速器をさぐるための雷ガンマ線研究を進めている。 (2) 宇宙誕生直後 ( $10^{-35}$ 秒後ころ) に起こったと考えられているインフレーションの時代に生成された原始重力波を検出し、宇宙がどのように誕生したかを解明することに挑戦する。具体的には、スペース重力波アンテナDECIGOのため、量子ロッキングなどの新しい手法を用いて不確定性原理で規定される標準量子限界を破る技術を開発する。また、地上において原始重力波の検出を可能にするような全く新しい重力波検出方法の開発にも挑戦している。
	複雑性科学実験 ( $\Sigma_E$ )	宇宙空間内のほとんどの物質は、原子がイオンと電子に乖離した「プラズマ」という状態で存在している。 $\Sigma_E$ 研では、「非線形現象の宝庫」と言われるプラズマを遠い宇宙に求めるのではなく“手の届く”実験室に実現し、能動的にプラズマに働きかけることによりその本質を探る研究を行う。キーワードは、非平衡、非線形、複雑性。具体的には、磁場閉じ込めプラズマを対象に、 $10^8$ K/mという宇宙でも類を見ない極限的な非平衡・不均一状態 (乱流状態) を支配する法則に挑戦している。他にも、オーロラを出現させる磁気圏プラズマでも重要となるプラズマ中の波動粒子相互作用による粒子加速と異常輸送の研究、核融合装置や大型加速器実験で重要となる負イオンビーム集束性に関する研究などを行っている。実験は、核融合科学研究所の大型ヘリカル装置 (LHD)、回転乱流実験装置、直線型高密度発生装置 (Hyper-I)、中性粒子ビーム試験装置 (NBTS)、電気対流乱流装置など、様々な規模の実験装置を使って物理的理解を深める研究を行っている。

領域名	研究分野	主要内容
物理科学	固体磁気共鳴 (I)	巨視的な量子状態をマイクロに観測することで、物性を支配する普遍的な物理法則の解明を目指す。電子の運動を原子スケールで観測する手法である核磁気共鳴 (NMR) によって、電子のわずかな対称性の破れを高感度に検出し、量子スピン液体や新奇な超伝導・超流動などの新しい凝縮現象を解明していく。また、超高压、超低温、光検出磁気共鳴といった最先端の技術開発により研究を進める。これらの研究は、将来新しい高温超伝導体の設計、従来の性能を凌駕する量子コンピュータやMRI (磁気共鳴画像装置) のコア技術へと進展する可能性を持つ。
	ナノ磁性・スピン物性(J)	ナノスケールで顕在化する新規磁性・スピン物性の解明と物理学の新概念の創出を目指した研究を推進している。最先端成膜・微細加工技術を駆使することで、新現象の発現の舞台を自らで人工的に設計・創製し、従来アプローチすることが困難であったような領域、特に、電子系・フォノン系・スピン系が強く結合したマイクロな界面状態に関連する新領域を開拓する。最近の研究テーマには、(1) マルチフェロイクスと交差相関、(2) 準粒子の伝播とトンネル現象、(3) マグノン-フォノン結合と熱輸送、(4) スピン流と磁気秩序との相関、(5) 磁性と超伝導の相関、等がある。
	機能性物質物性 (V)	面白くて役に立つ新物質を設計・合成し、その物質の持つ機能を測定・理解することを研究目的とする。機能としては、物質の電気特性 (電気伝導率、誘電率、熱起電力、非線形伝導など) に重点を置き、磁氣的性質や構造物性を組み合わせることによって、その物質を総合的に理解することを目指す。現在は、(1) 室温付近で巨大応答を示す酸化物、(2) 熱と電気エネルギーを相互変換できる新物質、(3) 相互作用が競合することによって生じる新現象 (4) 珍しい構造から生じる新しい電子相、の4テーマに興味がある。生物物理学や物理化学の一部の研究室と共同研究できる。
	応答物性 (Y)	物質に対して電場・磁場・圧力などの「入力」を加えると、分極・磁化・歪みなどの様々な「出力」が生じる。この「入力」と「出力」をつなぐ「応答」物性は、物質中に潜むからくりを明らかにする重要な探針となるだけでなく、私たちの生活をより豊かなものにする有益な道具立てにもなり得る。我々の研究室では、結晶・準結晶・アモルファスなどの多様な物質系を対象とし、構造と物性の相関を手掛かりとして、特異的な「応答」物性を示す新奇な物質の設計と創出に取り組む。現在は、巨大な分極応答を示す不均一系酸化物誘電体や光照射によって誘電率が変化するワイドギャップ酸化物、さらに新奇な電子相関や磁気秩序を示す準結晶の研究を進めている。
	生体分子動態機能 (D)	タンパク質や核酸などの生体高分子は、構造変換や自己組織化、周囲の分子との結合や解離といった様々な動的過程を通じて独自の機能を発揮し、その階層的集積と連鎖が、細胞、組織を介して個体の生命活動として結実している。生命を理解するためには、その素過程、すなわち個々の生体高分子の構造とその時間発展、周囲の分子との動的相互作用などのダイナミクスを高精度に計測し、分子が働く作動原理を明らかにすることが重要である。我々の研究室では、溶液中環境下で高い時空間分解能で試料を可視化できる高速原子間力顕微鏡技術をベースに、物性マッピングが可能な新規機能の開発や他の先端一分子計測手法との複合化を進め、動態と機能が密接に関連した様々なタンパク質の機能発現機構を解明する。また、X線回折実験などの構造解析法を駆使して、生体分子の高次構造構築原理の解明も行っている。

領域名	研究分野	主要内容
物理学	光生体エネルギー (G)	<p>太陽光エネルギーによって生命活動のエネルギーを創り出す光合成は、地球最大の生体エネルギー変換系であり、酸素呼吸型生命との炭素・酸素循環を通して地球環境を維持している。40億年にわたる地球と生命の共進化の主役であった、この光エネルギー変換系は、蛋白質と色素・金属によって精巧に構築された生体ナノシステムであり、高い量子効率と環境に応じた様々な制御機構を持つ。我々の研究室では、光合成における励起エネルギー・電子・プロトン移動の動的メカニズムを原子・分子レベルで明らかにし、光合成生命の進化過程を考究する。そのため、赤外分光を用いて巨大蛋白質複合体中の個々の分子振動を検出し、電子スピン共鳴を用いて電子の動きを捉える。特に、光合成研究の最大の謎である、水分解による酸素発生の仕組みの解明に挑戦する。</p>
	細胞情報生物物理 (K)	<p>生命現象は、様々な時空間スケールでの情報伝達、情報処理を伴う。生命現象にみられる情報変換の機構や過程を研究する。テーマの一つは、蛋白質のフォールディングや複合体形成機構の研究である。フォールディングは、ポリペプチド鎖が、特異的な天然立体構造に変換される過程であり、さらに複数の蛋白質が複合体を形成することによって機能を発揮するものもある。独自に開発した高速反応測定法や分光学的手法を用いてその物理学的機構を解明し、分子レベルでの生命現象の理解を目指す。もうひとつのテーマは、細胞内、細胞間での情報伝達過程の解析である。細胞内での生体分子などの動きと反応をイメージングや電気生理学的手法を用いて測定し、その動態と変化の機構を解明する。</p>
	【宇宙地球環境研究所】 大気圏環境変動 (AM)	<p>我々の生活に密接に関連する地球大気環境が研究の対象で、オゾン層破壊や地球温暖化のような地球規模の環境変化や地域的な環境汚染などが起きるメカニズムを解明し、環境問題の解決に寄与することを目的として以下のような研究を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a) 電波（ミリ波・サブミリ波）・赤外線などの最新技術を使用して、大気中の微量気体成分を高感度で測定する新しい計測装置の開発を行う。</li> <li>b) 大気中の微量気体成分やエアロゾルの観測を行い、オゾン層破壊や地球温暖化に関連する物質の変動を調べ、その要因と大気環境への影響を明らかにする。</li> <li>c) 太陽活動に伴い、地球の極域に降り注ぐ高エネルギー粒子が大気環境に与える影響を南極昭和基地や北欧での観測をもとに明らかにする。</li> <li>d) 地球以外の惑星の大気について電波望遠鏡等の地上からの観測装置で調べ、地球大気との比較等を通してその特徴を明らかにする。</li> </ul>

領域名	研究分野	主要内容
物理科学	宇宙空間物理学観測 (SS <sub>E</sub> )	<p>地球の超高層大気から近傍の宇宙空間まで広がる領域はジオスペースと呼ばれ、国際宇宙ステーションや各種実用・科学人工衛星に代表される様々な宇宙機が飛翔している。現代社会において必要不可欠な社会基盤が展開するジオスペースでは、太陽コロナから吹き付ける太陽風プラズマと惑星間空間磁場、地球固有磁場と電磁気圏プラズマ、下層大気からの力学的エネルギーと物質輸送が複雑に作用しあうことで、地球極域にはオーロラが出現し、静止軌道付近では宇宙嵐と呼ばれる大規模変動が引き起こされている。電磁気圏プラズマに代表される宇宙プラズマと惑星磁場、中性・電離大気の相互作用は、太陽系内のみならず遠方宇宙でも基礎的かつ普遍的な素過程である。従って、地球近傍の宇宙空間・超高層大気で起きている諸物理機構・変動現象を解明することは、宇宙開発に対する社会貢献だけでなく、宇宙に関する基礎的・普遍的な科学知見の獲得を意味する。本研究グループでは、最先端の科学観測機器を独自に開発し、海外・国内での地上フィールド観測と探査機を用いた宇宙空間での直接観測を両輪とした観測的・実験的研究を行い、この領域における物理素過程と変動現象を解明していく。</p> <p>a) 北欧において、大型のレーダー装置を含む各種レーダー、ナトリウム温度・風速ライダー、ファブリペロー干渉計、オーロライメージャなどを用いた国際協力による拠点観測を実施。</p> <p>b) 北極圏から日本、赤道域にわたる広い範囲で、オーロラ・大気光の分光・電波機器群による世界に類を見ない国際ネットワーク観測を展開。</p> <p>c) 宇宙空間・惑星大気を満たすプラズマ・中性粒子を計測するため、地球・惑星探査機、観測ロケットに搭載する分析器を研究・開発し、国内・国際協力を基盤とする探査・観測計画を提案・推進。</p>
	太陽宇宙環境物理学 (SS <sub>T</sub> )	<p>太陽宇宙環境システムの総合研究を、理論・シミュレーション・衛星及び地上観測データの解析を駆使することによって多角的に実施している。我々が生きる星“地球”とその周辺の宇宙空間（ジオスペース）は母なる星“太陽”と強くつながり、一つのシステムを形作っている。このため、地球環境は太陽と宇宙から絶えず影響を受け続けている。SS<sub>T</sub>研は、太陽と地球が織りなすこの広大なシステムの謎を学際的に探ることができる世界でも数少ない研究室である。研究領域は、太陽ダイナモ、フレア爆発、コロナ質量放出、太陽風、磁気嵐、オーロラ嵐、雲物理、比較惑星科学まで多岐に渡る。宇宙天体プラズマで起きる非線形非平衡ダイナミクスに関する理論シミュレーション研究を本格的に行うこともできる。GPSや衛星通信などにより宇宙利用が人々の生活を支える現代社会では、太陽宇宙環境の変動を予測する宇宙天気予報の重要性が高まりつつある。SS<sub>T</sub>研では太陽フレア爆発や放射線帯の変動、宇宙嵐（ジオスペース嵐）などの予測を目指した先進的な宇宙天気研究を行っている。また、太陽黒点活動と長期的な気候変動の関係を解明する宇宙気候研究を進めることもできる。基礎から応用まで多岐にわたる研究テーマの有機的な融合を通して教育と研究を実施している。</p>

領域名	研究分野	主要内容
物理学	宇宙線物理学 (CR)	<p>宇宙線は宇宙から飛来する高エネルギー素粒子であり、宇宙での高エネルギー現象や未知の素粒子についての情報をもたらす。宇宙線観測による宇宙線加速や伝播機構の解明、宇宙線による素粒子物理の研究、宇宙線と太陽地球環境との相互作用の研究を行う。</p> <p>a) 太陽・銀河宇宙線観測による宇宙線加速機構の研究。フェルミ衛星、CTA計画による<math>\gamma</math>線観測や、太陽中性子など太陽宇宙線の観測から、宇宙での粒子加速機構を解明する。</p> <p>b) 宇宙線による素粒子物理の研究。スーパーカミオカンデでのニュートリノ観測やXENON実験での暗黒物質WIMPの探索、またLHCでの超前方測定LHCf実験による超高エネルギー宇宙線反応の研究を行う。</p> <p>c) 宇宙線と太陽地球環境との相互作用。年輪中炭素14濃度測定から過去の太陽活動周期の解明を行うと共に、宇宙線変動と地球環境との相関を研究する。</p>
	太陽圏プラズマ物理学 (SW)	<p>太陽の大気であるコロナは約100万度もの高温に加熱され、コロナ大気中の粒子は電離したプラズマ状態になっている。この大気の一部は太陽の重力を振り切り、超音速の風「太陽風」となって宇宙空間へと流出する。太陽風は惑星の公転軌道を遙かに超えて進行を続け、太陽-地球間の距離の100倍以上もの広大な領域に広がる「太陽圏」を形成している。太陽風は300km/sから800km/s程度まで場所や時期によって大きく変動し、その変動は地球を含む惑星圏環境にも大きな影響を与えている。また、太陽では突発的なエネルギー解放現象によってプラズマ大気の塊の放出現象「コロナ質量放出(CME)」が発生する。太陽風やCMEによる擾乱は情報通信などの社会活動にも影響を与えるため、近年「宇宙天気予報」の実用化が求められている。太陽風は電波を散乱する性質がある。そのため太陽系外の天体を電波観測中に天体と地球の間を通過する太陽風やCMEを電波の散乱現象「惑星間空間シンチレーション (interplanetary scintillation: IPS)」を用いて地上から観測できる。SW研では、IPS観測のための独自の大型電波望遠鏡群を保有しており、IPS観測を中核とした最先端の太陽圏プラズマ物理学研究をおこなっている。例えば、太陽風の加速過程、伝搬過程、流源の探査など太陽風の性質を調べる研究、太陽圏のグローバルな構造や、その太陽活動依存性を調べる研究、CMEの発生機構や伝搬過程を理解し、その情報をデータ同化シミュレーションに取り込むことで宇宙天気予報の実用化を目指す研究、次世代の大型電波望遠鏡の実現に向けた観測機器の開発研究など、多様な研究を世界各国の研究機関と協力して推進している。</p> <p>研究室の詳細：<a href="https://stsw1.isee.nagoya-u.ac.jp/">https://stsw1.isee.nagoya-u.ac.jp/</a></p>

物理科学領域 志望研究分野 連絡先一覧

研究室名	担当者	メールアドレス	郵送先
E	棚橋 誠治	tanabash@eken.phys.nagoya-u.ac.jp	A
H	原田 正康	harada@hken.phys.nagoya-u.ac.jp	A
Q G	野尻 伸一	nojiri@gravity.phys.nagoya-u.ac.jp	A
P	渡邊 智彦	watanabe.tomohiko@nagoya-u.jp	A
C	市來 淨與	ichiki.kiyotomo.a9@f.mail.nagoya-u.ac.jp	A
T a	犬塚修一郎	inutsuka@nagoya-u.jp	A
$\Omega$	竹内 努	takeuchi.tsutomu.g8@f.mail.nagoya-u.ac.jp	A
$\Sigma_T$	沼波 政倫	nunami.masanori@nifs.ac.jp	B
R	宮崎 州正	miyazaki@r.phys.nagoya-u.ac.jp	A
S c	紺谷 浩	kon@slab.phys.nagoya-u.ac.jp	A
S t	河野 浩	kohno@st.phys.nagoya-u.ac.jp	A
B	TAMA Florence	florence.tama@nagoya-u.jp	A
F	中野 敏行	nakano@flab.phys.nagoya-u.ac.jp	A
N	飯嶋 徹	iijima@hepl.phys.nagoya-u.ac.jp	A
$\Phi$	清水 裕彦	hirohiko.shimizu@nagoya-u.jp	A
$\mu$	森島 邦博	morishima@flab.phys.nagoya-u.ac.jp	A
A	田村 陽一	ytamura@nagoya-u.jp	A
U ir	金田 英宏	kaneda@u.phys.nagoya-u.ac.jp	A
U xg	川村 静児	kawamura@u.phys.nagoya-u.ac.jp	A
$\Sigma_E$	永岡 賢一	nagaoka@nifs.ac.jp	B
I	小林 義明	i45323a@cc.nagoya-u.ac.jp	A
J	谷山 智康	taniyama.tomo@nagoya-u.jp	A
V	寺崎 一郎	terra@nagoya-u.jp	A
Y	谷口 博基	taniguchi@nagoya-u.jp	A
D	内橋 貴之	uchihast@d.phys.nagoya-u.ac.jp	A
G	野口 巧	tnoguchi@bio.phys.nagoya-u.ac.jp	A
K	榎 互介	k_maki@synapse.phys.nagoya-u.ac.jp	A
AM	水野 亮	mizuno@isee.nagoya-u.ac.jp	C
S S <sub>E</sub>	平原 聖文	hirahara@nagoya-u.jp	C
S S <sub>T</sub>	草野 完也	kusano@nagoya-u.jp	C
C R	伊藤 好孝	itow@isee.nagoya-u.ac.jp	C
S W	岩井 一正	k.iwai@isee.nagoya-u.ac.jp	C

\* 郵送により志望研究室と連絡をとる場合は下記の住所と担当者氏名を明記すること。

【注】志願票の郵送先とは違うので注意すること

A	〒464-8602 名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院理学研究科 物理科学領域
B	〒509-5292 土岐市下石町 322-6 自然科学研究機構 核融合科学研究所
C	〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学宇宙地球環境研究所

# 自己推薦書

次の内容のそれぞれについて項目ごとに、合計1000字から2000字で記述してください。(1)物理学において、今までに感銘を受けたこと、あるいは強い関心を持ったこと。その理由と内容、その後それをもとに自分でさらに強く追求したことを具体的に記述。数式や図を用いてもよい。(2)現在行っている、もしくはこれから取り組む予定の卒業研究の内容。(3)志望分野とそれを選んだ理由。(4)志望分野に対するあなたの適性、特性のアピール。(5)その他、入学後の抱負、希望する将来の進路、研究について考えていることなどを自由に記述。なお、第二志望のある出願者は、(3)と(4)において、第二志望分野についても明記すること。

氏名	
----	--

<div style="border: 1px dashed gray; height: 739px;"></div>
---

注意：ワープロで作成したものを上記のマス目の上に貼り付けても良い。その場合、マス目は気にしなくて良いが、字数制限は守ること。(マス目は31字×31行)



## GPA および主要科目（物理学）成績表

志望研究分野 1. \_\_\_\_\_ 2. \_\_\_\_\_

出身大学 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

### (1) GPA (Grade Point Average)

志願者の累積 GPA および出身大学 GPA の最高値（満点）を記入してください。

GPA	(志願者の GPA)	(GPA の最高値)
	/	

出身大学が GPA を導入していない場合には、次式を用いて独自に計算すること（すべての単位について計算する。成績評価が異なる場合には、近いものに読み替えること。合格・不合格により成績評価された授業科目は GPA に算入しない。）。

$$\text{GPA} = \frac{4.3 \times S \text{ 取得単位数} + 4 \times A \text{ 取得単位数} + 3 \times B \text{ 取得単位数} + 2 \times C \text{ 取得単位数}}{S \text{ 取得単位数} + A \text{ 取得単位数} + B \text{ 取得単位数} + C \text{ 取得単位数} + F \text{ 取得単位数}}$$

### (2) 主要科目（物理学）成績表

物理学に関する主要科目の成績を記入してください。

分野	科目	成績	※	※
力学 解析力学		S・A・B・C		
		S・A・B・C		
		S・A・B・C		
電磁気学		S・A・B・C		
		S・A・B・C		
		S・A・B・C		
量子力学		S・A・B・C		
		S・A・B・C		
		S・A・B・C		
熱力学 統計力学		S・A・B・C		
		S・A・B・C		
		S・A・B・C		
物理数学		S・A・B・C		
		S・A・B・C		
		S・A・B・C		
物理学実験		S・A・B・C		
		S・A・B・C		
		S・A・B・C		

※は空欄のままにしておくこと。

(1)、(2) について、成績評価が秀・優・良・可・不可の場合、秀=S、優=A、良=B、可=C、不可=F と読み替え、それ以外の成績評価の場合には、近いものに読み替えること。



# コード番号一覧表

## 出身大学・大学院コード表〔50音順〕

国外の大学	8888	江戸川大学	2189	帯広畜産大学	0116	九州看護福祉大学	2907	敬愛大学	2172
表にない大学・		愛媛大学	0352	<b>カ行</b>		九州共立大学	2827	慶應義塾大学	2197
学位授与機構出身者等	9999	愛媛県立医療技術大学	1305	嘉悦大学	2324	九州芸術工科大学	0372	恵泉女学園大学	2321
<b>ア行</b>		エフエフ音楽大学	2744	香川大学	0348	九州工業大学	0360	敬和学園大学	2374
愛国学園大学	2166	奥羽大学	2101	香川県立保健医療大学	1300	九州国際大学	2829	県立長崎シブツ大学	1329
愛知大学	2488	桜花学園大学	2487	香川医科大学	0468	九州産業大学	2847	県立広島女子大学	1284
愛知医科大学	2494	桜美林大学	2297	学習院大学	2193	九州歯科大学	1316	県立広島大学	1282
愛知学院大学	2464	大分大学	0388	学習院女子大学	2261	九州情報大学	2862	工学院大学	2198
愛知学泉大学	2489	大分医科大学	0448	鹿児島大学	0396	九州女子大学	2828	皇學館大学	2517
愛知教育大学	0268	大分県立看護科学大学	1334	鹿児島国際大学	2942	九州東海大学	2944	甲子園大学	2670
愛知県立大学	1196	大阪大学	0292	鹿児島純心女子大学	2946	九州保健福祉大学	2932	高知大学	0356
愛知県立看護大学	1214	大阪青山大学	2637	活水女子大学	2883	九州ルーテル学院大学	2906	高知医科大学	0440
愛知県立芸術大学	1208	大阪医科大学	2602	神奈川大学	2332	共愛学園前橋国際大学	2143	高知工科大学	2810
愛知工科大学	2459	大阪音楽大学	2603	神奈川県立保健福祉大学	1153	共栄大学	2145	高知県立大学	1308
愛知工業大学	2465	大阪外国語大学	0296	神奈川工科大学	2360	京都大学	0280	甲南大学	2643
愛知産業大学	2481	大阪学院大学	2604	神奈川歯科大学	2353	京都外国語大学	2540	甲南女子大学	2644
愛知淑徳大学	2495	大阪教育大学	0300	金沢大学	0236	京都学園大学	2554	神戸大学	0304
愛知文科大学	2486	大阪経済大学	2577	金沢医科大学	2388	京都教育大学	0284	神戸海星女子学院大学	2645
愛知みずほ大学	2463	大阪経済法科大学	2623	金沢学院大学	2390	京都光華女子大学	2544	神戸学院大学	2646
会津大学	1128	大阪芸術大学	2605	金沢工業大学	2387	京都工芸繊維大学	0288	神戸芸術工科大学	2679
青森大学	2039	大阪工業大学	2578	金沢星陵大学	2386	京都嵯峨芸術大学	2560	神戸国際大学	2651
青森県立保健大学	1113	大阪国際大学	2624	金沢美術工芸大学	1164	京都産業大学	2541	神戸市外国語大学	1248
青森公立大学	1112	大阪産業大学	2606	鹿屋体育大学	0480	京都女子大学	2542	神戸市看護大学	1258
青森中央学院大学	2044	大阪歯科大学	2579	鎌倉女子大学	2354	京都市立芸術大学	1220	神戸松蔭女子学院大学	2649
青山学院大学	2190	大阪樟蔭女子大学	2607	川崎医科大学	2730	京都精華大学	2555	神戸商科大学	1252
秋田大学	0140	大阪商業大学	2608	川崎医療福祉大学	2732	京都造形芸術大学	2557	神戸商船大学	0308
秋田経済法科大学	2080	大阪女学院大学	2635	川村学園女子大学	2185	京都創成大学	2559	神戸女学院大学	2671
秋田県立大学	1120	大阪女子大学	1232	関西大学	2614	京都橘女子大学	2546	神戸女子大学	2647
浅井学園大学	2017	大阪市立大学	1236	関西医科大学	2615	京都ノートルダム女子大学	2549	神戸親和女子大学	2650
朝日大学	2434	大阪成蹊大学	2631	関西外国語大学	2616	京都府立大学	1224	神戸ファッション造形大学	2684
旭川大学	2009	大阪体育大学	2609	関西国際大学	2681	京都府立医科大学	1228	神戸薬科大学	2648
旭川医科大学	0404	大阪電気通信大学	2610	関西鍼灸大学	2632	京都文教大学	2558	神戸山手大学	2682
麻布大学	2352	大阪人間科学大学	2629	関西福祉科学大学	2625	京都薬科大学	2543	高野山大学	2600
亜細亜大学	2296	大阪府立大学	1243	関西福祉大学	2680	共立女子大学	2195	公立ほこだて未来大学	1102
足利工業大学	2128	大阪府立看護大学	1242	関西学院大学	2669	共立薬科大学	2196	郡山女子大学	2100
芦屋大学	2666	大阪観光大学	2628	神田外語大学	2181	杏林大学	2315	国学院大学	2199
跡見学園女子大学	2152	大阪薬科大学	2611	関東学院大学	2333	近畿大学	2617	国際大学	2376
石川県立看護大学	1165	大谷大学	2539	関東学院大学	2333	神戸医療福祉大学	2683	国際医療福祉大学	2133
石川県立大学	1163	大谷女子大学	2612	関東学園大学	2142	金城大学	2391	国際基督教大学	2299
石巻専修大学	2068	大妻女子大学	2192	畿央大学	2694	金城学院大学	2466	国際教養大学	1121
茨城大学	0152	大手前大学	2668	北九州市立大学	1312	釧路公立大学	1104	国際仏教学大学院大学	2260
茨城初声教大学	2113	追手門学院大学	2613	北里大学	2194	国立音楽大学	2298	国際武道大学	2180
茨城県立医療大学	1132	岡山大学	0332	北見工業大学	0120	熊本大学	0384	国土館大学	2200
いわき明星大学	2103	岡山学院大学	2735	吉備国際大学	2725	熊本学園大学	2904	駒澤大学	2201
岩手大学	0128	岡山県立大学	1278	岐阜大学	0252	熊本県立大学	1332	駒沢女子大学	2295
岩手医科大学	2055	岡山商科大学	2726	岐阜経済大学	2432	倉敷芸術科学大学	2734	<b>サ行</b>	
岩手県立大学	1114	岡山理科大学	2727	岐阜県立看護大学	1185	くらしき作陽大学	2728	埼玉大学	0164
上野学園大学	2191	沖縄大学	2954	岐阜女子大学	2433	久留米大学	2848	埼玉医科大学	2160
宇都宮大学	0156	沖縄県立看護大学	1349	岐阜聖徳学園大学	2435	久留米工業大学	2857	埼玉学園大学	2146
宇都宮共和大学	2134	沖縄県立芸術大学	1348	岐阜薬科大学	1184	広島文化学園大学	2755	埼玉学園大学	2146
宇部フロンティア大学	2769	沖縄国際大学	2953	九州大学	0368	群馬大学	0160	埼玉県立大学	1143
英知大学	2667	小樽商科大学	0112	九州共立大学	2827	群馬県立健康科学大学	1142	埼玉工業大学	2161
		お茶の水女子大学	0204	九州女子大学	2828	群馬県立女子大学	1140	佐賀大学	0376
		尾道市立大学	1283	九州栄養福祉大学	2864	群馬社会福祉大学	2132	佐賀医科大学	0444

相模女子大学	2356	椋山女学園大学	2467	千葉経済大学	2183	東京電機大学	2232	長崎県立大学	1328
作新学院大学	2131	鈴鹿医療科学大学	2518	千葉工業大学	2173	東京都市大学	2271	長崎国際大学	2885
札幌大学	2001	鈴鹿国際大学	2519	千葉商科大学	2174	東京都立大学	1148	長崎純心大学	2884
札幌医科大学	1100	駿河台大学	2162	中央大学	2223	東京都立科学技術大学	1150	長崎総合科学大学	2882
札幌学院大学	2002	諏訪東京理科大学	2419	中央学院大学	2175	東京都立保健科学大学	1151	長野大学	2417
札幌国際大学	2016	成安造形大学	2525	中京大学	2469	東京農業大学	2233	長野県看護大学	1182
産業医科大学	2858	聖学院大学	2163	中京学院大学	2431	東京農工大学	0212	中村学園大学	2852
産能大学	2361	聖カタリナ女子大学	2804	中京女子大学	2490	東京福祉大学	2144	長浜バイオ大学	2528
山陽学園大学	2733	成蹊大学	2301	中国学園大学	2736	東京富士大学	2326	名古屋大学	0260
滋賀大学	0276	政策研究大学院大学	0496	中部大学	2491	東京薬科大学	2234	名古屋音楽大学	2477
滋賀医科大学	0420	成城大学	2212	中部学院大学	2437	東京理科大学	2235	名古屋外国語大学	2479
滋賀県立大学	1216	星城大学	2485	筑波大学	0408	同志社大学	2547	名古屋学院大学	2471
志學館大学	2945	聖心女子大学	2213	つくば国際大学	2116	同志社女子大学	2548	名古屋学芸大学	2499
滋賀県立大学	1216	清泉女学院大学	2421	津田塾大学	2303	道都大学	2014	名古屋経済大学	2496
四国大学	2779	清泉女子大学	2214	都留文科大学	1172	東邦大学	2236	名古屋芸術大学	2493
四国学院大学	2790	聖泉大学	2527	鶴見大学	2334	同朋大学	2470	名古屋工業大学	0264
静岡大学	0256	聖徳大学	2188	帝京大学	2304	東邦音楽大学	2155	名古屋産業大学	2460
静岡県立大学	1190	西南学院大学	2849	帝京科学大学	2405	桐朋学園大学	2309	名古屋商科大学	2472
静岡英和学院大学	2451	西南女学院大学	2861	帝京平成大学	2182	東邦学園大学	2484	名古屋女子大学	2473
静岡産業大学	2456	西武文理大学	2149	帝塚山大学	2690	桐朋学園大学院大学	2380	名古屋市立大学	1204
静岡福祉大学	2449	聖マリアンナ医科大学	2340	帝塚山学院大学	2620	東北大学	0132	名古屋造形芸術大学	2480
静岡文化芸術大学	2457	聖隷クリスティー看護大学	2455	デジタルハリウッド大学	2328	東北学院大学	2062	名古屋文理大学	2462
静岡理工科大学	2454	聖路加看護大学	2215	電気通信大学	0216	東北芸術工科大学	2090	奈良大学	2692
自治医科大学	2140	聖和大学	2672	天使大学	2022	東北公益文科大学	2091	奈良教育大学	0312
実践女子大学	2202	清和大学	2168	天理大学	2691	東北工業大学	2063	奈良県立大学	1266
四天王寺国際仏教大学	2618	摂南大学	2582	東亜大学	2766	東北女子大学	2040	奈良県立医科大学	1264
芝浦工業大学	2203	専修大学	2216	桐蔭横浜大学	2363	東北生活文化大学	2066	奈良産業大学	2693
島根大学	0328	洗足学園音楽大学	2357	東海大学	2224	東北福祉大学	2064	奈良女子大学	0316
島根医科大学	0428	仙台大学	2061	東海学園大学	2482	東北文化学園大学	2070	奈良先端科学技術大学院大学	0492
島根県立大学	1277	仙台白百合女子大学	2069	東海女子大学	2436	東北薬科大学	2065	鳴門教育大学	0476
下関市立大学	1288	千里金蘭大学	2633	東京大学	0172	東洋大学	2237	南山大学	2474
首都大学東京	1149	相愛大学	2580	東京医科大学	2225	東洋英和女学院大学	2364	新潟大学	0228
就実大学	2731	創価大学	2316	東京医科歯科大学	0176	東洋学園大学	2179	新潟医療福祉大学	2368
秀明大学	2184	総合研究大学院大学	0484	東京医療保健大学	2330	東和大学	2851	新潟県立看護大学	1155
十文字学園女子大学	2150	崇城大学	2903	東京音楽大学	2238	常盤大学	2115	新潟経営大学	2372
淑徳大学	2171	創造学園大学	2124	東京海洋大学	0504	常磐会学園大学	2627	新潟工科大学	2370
種智院大学	2545	園田学園女子大学	2673	東京外国語大学	0180	徳島大学	0344	新潟国際情報大学	2373
順天堂大学	2204			東京学芸大学	0208	徳島文理大学	2780	新潟産業大学	2377
松蔭大学	2365	<b>夕 行</b>		東京家政大学	2226	徳山大学	2765	新潟青陵大学	2369
上越教育大学	0452	第一工業大学	2943	東京家政学院大学	2227	常葉学園大学	2452	新潟薬科大学	2375
尚綱大学	2905	第一薬科大学	2850	東京家政学院筑波女子大学	2117	獨協大学	2156	西九州大学	2871
尚綱学院大学	2071	大正大学	2218	東京基督教大学	2187	獨協医科大学	2141	西日本工業大学	2853
城西大学	2154	太成学院大学	2626	東京経済大学	2305	鳥取大学	0324	二松学舎大学	2239
城西国際大学	2170	大同工業大学	2468	東京芸術大学	0184	鳥取環境大学	2710	日本大学	2240
上智大学	2205	大東文化大学	2219	東京工科大学	2319	苫小牧駒澤大学	2019	日本医科大学	2241
湘南工科大学	2355	高岡法科大学	2378	東京工業大学	0192	富山大学	0232	日本工業大学	2157
尚美学園大学	2147	高崎経済大学	1136	東京工芸大学	2358	富山医科薬科大学	0424	日本歯科大学	2242
上武大学	2139	高崎健康福祉大学	2137	東京国際大学	2153	富山県立大学	1160	日本社会事業大学	2243
情報科学芸術大学院大学	1186	高崎商科大学	2138	東京歯科大学	2228	富山国際大学	2379	日本獣医畜産大学	2318
昭和大学	2206	高千穂大学	2220	東京慈恵会医科大学	2229	豊田工業大学	2478	日本女子大学	2244
昭和音楽大学	2362	高松大学	2791	東京純心女子大学	2323	豊橋技術科学大学	0436	日本女子体育大学	2245
昭和女子大学	2207	宝塚大学	2676	東京商船大学	0196	豊橋創造大学	2483	日本赤十字看護大学	2320
昭和薬科大学	2208	拓殖大学	2221	東京情報大学	2186			日本赤十字九州国際看護大学	2865
女子栄養大学	2209	多摩大学	2322	東京女子大学	2230	<b>ナ 行</b>		日本赤十字広島看護大学	2757
女子美術大学	2210	玉川大学	2302	東京女子医科大学	2231	長岡大学	2367	日本赤十字北海道看護大学	2020
白梅学園大学	2329	多摩美術大学	2222	東京女子体育大学	2306	長岡技術科学大学	0432	日本体育大学	2246
白百合女子大学	2300	筑紫学園大学	2859	東京神学大学	2307	長岡造形大学	2371	日本橋学館大学	2167
仁愛大学	2396	千歳科学技術大学	2018	東京水産大学	0200	長崎大学	0380	日本福祉大学	2475
信州大学	0248	千葉大学	0168	東京成徳大学	2169	長崎ウエルヤノ大学	2887	日本文化大学	2317
杉野服飾大学	2211	千葉科学大学	2123	東京造形大学	2308	長崎外国語大学	2886	日本文理大学	2914

人間環境大学	2461	藤女子大学	2004	明治大学	2254
人間総合科学大学	2148	藤田保健衛生大学	2492	明治学院大学	2255
トクメク清心女子大学	2729	富士常葉大学	2458	明治鍼灸大学	2556

ハ行

梅花女子大学	2621	佛教大学	2551	明治薬科大学	2256
梅光学院大学	2764	文化女子大学	2248	名城大学	2476
山口福祉文化大学	2768	文京学院大学	2164	明星大学	2313
白鷗大学	2130	文教大学	2158	目白大学	2165
函館大学	2003	文星芸術大学	2135	ものつくり大学	2136
羽衣国際大学	2630	平安女学院大学	2526	桃山学院大学	2581
八戸学院大学	2043	平成音楽大学	2908	盛岡大学	2054
八戸工業大学	2042	平成国際大学	2151		
花園大学	2550	別府大学	2915		
浜松大学	2453	法政大学	2249		
浜松医科大学	0412	放送大学	0991		
浜松学院大学	2450	北星学園大学	2005		
阪南大学	2622	北陸大学	2389		
東日本国際大学	2105	北陸先端科学技術大学院大学	0488		
比治山大学	2753	星薬科大学	2250		
一橋大学	0220	北海学園北見大学	2012		
姫路工業大学	1260	北海学園大学	2006		
姫路獨協大学	2677	北海道大学	0100		
兵庫大学	2652	北海道医療大学	2011		
兵庫医科大学	2653	北海道教育大学	0104		
兵庫教育大学	0464	北海道工業大学	2007		
兵庫県立看護大学	1262	北海道情報大学	2015		
兵庫県立大学	1263	北海道東海大学	2013		
弘前大学	0124	北海道文教大学	2021		
弘前学院大学	2041	北海道薬科大学	2010		

ヤ行

安田女子大学	2751
山形大学	0144
山形県立保健医療大学	1122
山口大学	0340
山口県立大学	1292
山口東京理科大学	2767
山梨大学	0500
山梨医科大学	0460
山梨英和大学	2407
山梨学院大学	2404
山梨県立看護大学	1176
山梨県立大学	1177
横浜国立大学	0224
横浜商科大学	2336
横浜市立大学	1152
四日市大学	2498

マ行

ラ行

前橋工科大学	1138	酪農学園大学	2008
松阪大学	2497	立教大学	2257
松本大学	2420	立正大学	2258
松本歯科大学	2418	立命館大学	2552
松山大学	2803	立命館アジア太平洋大学	2916
松山東雲女子大学	2805	琉球大学	0400
三重大学	0272	龍谷大学	2553
三重県立大学	1212	流通科学大学	2678
三重県立看護大学	1215	流通経済大学	2114
南九州大学	2929	ルーテル学院大学	2247
身延山大学	2406	麗澤大学	2176
美作大学	2743	LEO東京リーガルパド大学	2327
宮城大学	1116		
宮城学院女子大学	2067		
宮城教育大学	0136		
宮崎大学	0392		
宮崎医科大学	0416		
宮崎県立看護大学	1338		
宮崎公立大学	1336		
宮崎国際大学	2931		
宮崎産業経営大学	2930		
武庫川女子大学	2674		
武蔵大学	2251		
武蔵工業大学	2252		
武蔵野音楽大学	2253		
武蔵野大学	2311		
武蔵野美術大学	2312		
室蘭工業大学	0108		
名桜大学	2955		
明海大学	2159		

ワ行

和歌山大学	0320
和歌山県立医科大学	1268
和光大学	2314
早稲田大学	2259
稚内北星学園大学	2023
和洋女子大学	2177

# 出身学部・研究科コード表〔50音順〕

<b>【学部コード】</b>	環境理工学部	130	現代ビジネス学部	379	社会学部	016	生物資源環境学部	326
表にない学部	看護学部	063	現代福祉学部	238	社会イノベーション学部	402	生物生産学部	056
学位授与機構出身者等	観光学部	177	現代文化学部	116	社会科学部	017	生物生命学部	345
	看護栄養学部	197	現代法学部	239	社会環境学部	268	生物理工学部	099
<b>ア行</b>	看護福祉学部	103	現代法経学部	339	社会システム科学部	277	生命科学部	095
21世紀アジア学部	看護福祉心理学部	234	現代マネジメント学部	364	社会情報学部	104	生命環境学部	329
アジア太平洋学部	感性デザイン学部	337	現代ライフ学部	344	社会福祉学部	022	生命環境科学部	328
アジア太平洋マネジメント学部	管理栄養学部	352	工学部	038	社会文化学部	243	生命システム工学部	341
医学部	危機管理理学部	297	公益学部	274	獣医学部	050	生命理工学部	135
医学専門学群	企業情報学部	235	工学資源学部	188	獣医畜産学部	049	繊維学部	057
異文化コミュニケーション学部	基礎工学部	039	工芸学部	041	商学部	033	造形学部	069
医用工学部	技能工芸学部	264	鉱山学部	046	生涯学習システム学部	244	造形芸術学部	081
医療衛生学部	九州工学部	302	国際学部	020	商経学部	034	総合科学部	076
医療看護学部	教育学部	003	国際英語学部	283	商船学部	045	総合管理学部	124
医療技術学部	教育地域科学部	195	国際・英語学部	319	情報学部	032	総合キャリア学部	317
医療健康科学部	教育人間科学部	167	国際開発学部	240	情報科学部	082	総合経営学部	248
医療工学部	教育福祉学部	398	国際環境工学部	261	情報環境学部	275	総合情報学部	129
医療福祉学部	教育福祉科学部	191	国際関係学部	019	情報工学部	044	総合政策学部	084
医療福祉工学部	教育文化学部	187	国際教養学部	229	情報コミュニケーション学部	307	総合人間学部	091
医療福祉マネジメント学部	共生システム理工学類	334	国際経営学部	126	情報社会科学部	140	総合人間科学部	370
医療保健学部	行政社会学部	079	国際経済学部	097	情報社会政策学部	181	総合人間・文化学部	249
衛生学部	行政政策学類	332	国際言語学部	149	情報フロンティア学部	397	総合福祉学部	250
栄養学部	教養学部	001	国際言語文化学部	012	情報文化学部	106	総合文化学部	278
栄養科学部	グローバルマネジメント学部	401	国際交流学部	162	情報メディア学部	245	総合文化学群	342
園芸学部	経営学部	030	国際コミュニケーション学部	148	情報理工学部	392	総合理工学部	136
応用情報学部	経営科学部	128	国際社会学部	194	食産学部	349	総合リハビリテーション学部	369
応用生物学部	経営経済学部	102	国際商学部	117	食品栄養科学部	065	創造芸術学部	295
応用生物科学部	経営情報学部	031	国際情報学部	180	食文化学部	168	ソーシャルワーク学部	296
応用生命科学部	経営情報科学部	223	国際食料情報学部	176	食物栄養学部	272	ソフトウェア情報学部	183
音楽学部	経営政策学部	382	国際政策学部	327	神学部	009		
音楽・文化学部	経営文化学部	236	国際政治経済学部	028	鍼灸学部	078	<b>タ行</b>	
	経営法学部	171	国際総合科学部	336	心身科学部	363	第一学群	151
<b>カ行</b>	経済学部	029	国際地域学部	161	神道文化学部	281	第二学群	152
会計ファイナンス学部	経済科学部	165	国際人間学部	279	人文学部	014	第三学群	153
外国語学部	経済経営学部	256	国際文化学部	086	人文科学部	189	体育学部	066
海事科学部	経済経営学類	333	子ども学部	378	人文社会学部	108	体育専門学群	155
開発工学部	経済情報学部	115	コミュニケーション学部	138	人文社会科学部	015	地域学部	251
海洋学部	芸術学部	067	コミュニティ振興学部	241	心理学部	224	地域科学部	144
海洋科学部	芸術工学部	042	コミュニティ政策学部	182	心理科学部	355	地域環境科学部	179
海洋工学部	芸術専門学群	156	コミュニティ福祉学部	178	心理福祉学部	322	地域教育文化学部	343
科学技術学部	芸術文化学部	271	コンピュータサイエンス学部	362	診療放射線学部	304	地域政策学部	146
香川薬学部	健康栄養学部	366	コンピュータ理工学部	094	水産学部	054	地球環境科学部	184
学芸学部	健康科学部	132			数理情報学部	225	畜産学部	051
家政学部	健康管理学部	353	<b>サ行</b>		スポーツ科学部	185	知的財産学部	376
学校教育学部	健康生活学部	354	サービス経営学部	200	スポーツ・健康科学部	109	デザイン学部	100
環境学部	健康福祉学部	269	サービス産業学部	263	生活科学部	074	デザイン工学部	112
環境科学部	健康プロデュース学部	400	産業経営学部	260	生活環境学部	107	デジタルコミュニケーション学部	346
環境共生学部	健康メディア学部	286	産業社会学部	021	政経学部	026	電気通信学部	043
環境・建築学部	言語コミュニケーション学部	305	産業情報学部	387	政策学部	227	電子情報学部	267
環境システム学部	現代経営学部	350	産業保健学部	150	政策科学部	098	都市環境学部	324
環境情報学部	現代経営情報学部	377	産業理工学部	393	政策情報学部	247	都市教養学部	323
環境情報ビジネス学部	現代国際学部	391	歯学部	059	政策マネジメント学部	308	都市経済学部	199
環境造園学部	現代コミュニケーション学部	221	事業構想学部	158	生産工学部	040	都市情報学部	141
環境創造学部	現代社会学部	139	システム科学技術学部	196	政治経済学部	027	図書館情報学部	077
環境人間学部	現代生活学部	356	システム工学部	111	生物産業学部	120	図書館情報専門学群	157
環境防災学部	現代中国学部	163	システム情報科学部	242	生物資源学部	080		
環境保健学部	現代人間学部	394	システムデザイン学部	325	生物資源科学部	137		

ナ行	
新潟歯学部	301
日本文化学部	122
人間学部	110
人間科学部	075
人間環境学部	131
人間関係学部	018
人間看護学部	368
人間健康学部	360
人間社会学部	083
人間生活学部	118
人間生活科学部	404
人間発達学部	289
人間発達文化学類	331
人間福祉学部	159
人間文化学部	134
ネットワーク情報学部	273
農学部	047
農学生命科学部	166
ハ行	
バイオサイエンス学部	374
バイオエクス学部	361
発達科学部	092
発達教育学部	390
比較文化学部	013
光科学部	170
ビジネ学部	381
ビジネス情報学部	280
美術学部	068
美術工芸学部	070
美術文化学部	253
ヒューマンケア学部	321
表現学部	254
ファッション造形学部	330
福岡医療技術学部	403
福祉経営学部	365
福祉社会学部	169
福祉情報学部	380
福祉総合学部	388
仏教学部	010
不動産学部	123
文学部	006
文化学部	160
文科一類	208
文科二類	209
文科三類	210
文化教育学部	145
文化言語学部	347
文化情報学部	096
文化政策学部	257
文化創造学部	258
文化表現学部	395
文教学部	007
文芸学部	008
文理学部	002
保育学部	290
法学部	024
法経学部	025

法政経学部	228
法政策学部	164
法学部	023
保健学部	061
保健医療学部	093
保健医療福祉学部	198
保健衛生学部	087
保健科学部	142
保健看護学部	300
保健福祉学部	101
ホスピタリティ・ツーリズム学部	338
マ行	
マネジメント学部	351
メディア学部	193
メディア造形学部	359
ヤ行	
薬学部	060
ラ行	
酪農学部	053
理学部	035
理科一類	211
理科二類	212
理科三類	213
理工学部	037
リハビリテーション学部	357
流通学部	143
流通科学部	127
流通経済学部	259
流通情報学部	147

【研究科コード】	
表にない研究科	
学位授与機構出身者等	999
ア行	
医学研究科	658
医学系研究科	657
栄養学研究科	664
園芸学研究科	648
音楽研究科	671
カ行	
会計学研究科	762
外国語学研究科	611
家政学研究科	672
学校教育学研究科	605
環境学研究科	706
環境科学研究科	705
環境マネジメント研究科	776
看護学研究科	663
基礎工学研究科	639
教育学研究科	603
教育発達科学研究科	604
グローバル・ビジネス・コミュニケーション研究科	768
経営学研究科	630
経営経済学研究科	702
経営情報研究科	764
経営情報学研究科	631
経済学研究科	629
経済経営研究科	765
経済情報研究科	763
芸術研究科	779
芸術学研究科	667
芸術工学研究科	642
健康科学研究科	732
現代社会研究科	741
工学研究科	638
工学系研究科	737
工芸科学研究科	641
国際言語文化研究科	995
鉱山学研究科	646
国際学研究科	620
国際開発研究科	991
国際関係研究科	619
国際関係学研究科	742
国際コミュニケーション研究科	743
国際地域文化研究科	744
国際人間学研究科	745
国際文化研究科	686
コミュニケーション研究科	746
コンピュータ理工学研究科	694
サ行	
歯学研究科	659
システム自然科学研究科	760
社会学研究科	616
社会科学研究科	617
社会情報学研究科	704
社会福祉学研究科	622
獣医学研究科	650
商学研究科	633

商船学研究科	645
情報学研究科	632
情報・経営開発研究科	766
情報科学研究科	682
情報工学研究科	644
人文科学研究科	614
人文社会科学研究科	615
心理学研究科	748
水産学研究科	654
数情報研究科	761
生活科学研究科	674
生活学研究科	750
生活健康科学研究科	756
政策科学研究科	771
生産工学研究科	640
生物資源学研究科	680
生物資源科学研究科	758
生命農学研究科	994
生命理工学研究科	735
造形芸術研究科	777
総合科学研究科	676
総合学術研究科	773
総合基礎科学研究科	757
総合政策研究科	772
総合理工学研究科	736
タ行	
体育学研究科	666
多元数理科学研究科	993
地域科学研究科	767
地域政策科学研究科	679
地球科学研究科	759
畜産学研究科	651
中国研究科	740
デザイン研究科	778
電気通信学研究科	643
都市情報学研究科	775
図書館情報学研究科	677
ナ行	
人間科学研究科	675
人間環境学研究科	731
人間関係学研究科	749
人間社会学研究科	683
人間情報学研究科	992
人間生活学研究科	751
人間福祉研究科	754
人間福祉学研究科	755
人間文化研究科	734
農学研究科	647
ハ行	
比較文化研究科	613
ビジネス・イノベーション研究科	769
美術研究科	780
美術学研究科	668
美術工芸学研究科	670
文学研究科	606
文化政策研究科	774
文化創造研究科	747
法学研究科	624

保健衛生学研究科	753
保健学研究科	752
保健福祉学研究科	701
マ行	
マネジメント研究科	770
ヤ行	
薬学研究科	660
薬学系研究科	661
ラ行	
理学研究科	635
理工学研究科	637
流通科学研究科	727